

農山村論Ⅰ

科目ナンバー 8D203
専門 基礎系 選必 2
単位

林田 朋幸

1. 授業の概要(ねらい)

主に日本における農山村社会について、多様な事例を通して概説します。調整がつけば、外部講師を招いて農山村の事例に関する講演・ワークショップを2回程度予定しています。この授業では、特に地域経済学科の学位授与の方針(ディプロマポリシー)DP1・DP2に関する知識・態度を修得します。

2. 授業の到達目標

日本の農山村社会の仕組みについて具体的に説明することができる。

3. 成績評価の方法および基準

平常点とテストで評価します。得点配分は平常点40%、テスト60%です。平常点は小レポートや質疑応答等を基に評価します。テストは論述式で、知識の修得度と応用力を問います。フィードバックは全授業が終了後に、希望者に対して口頭で行います。

4. 教科書・参考文献

教科書

教科書は使用しません。講義プリントを配布します。

参考文献

鳥越皓之 家と村の社会学 増補版 世界思想社、ISBN:978-4790704799

日本村落研究学会 むらの社会を研究するーフィールドからの発想 農山漁村文化協会、ISBN:978-4540061516

日本村落研究学会 むらの資源を研究するーフィールドからの発想 農山漁村文化協会、ISBN:978-4540063053

5. 準備学習の内容

講義の事前学習として、資料を配付する場合があります。これを通読し、分からない語句は辞書等で調べ、ノートにまとめるようにして下さい(1時間)。事前学習でまとめたノートは、授業時に持参するようにして下さい。事後学習として、配布資料の復習及び図書・新聞・WEB等で授業と関連する事例を調べ、ノートにまとめるようにして下さい(2時間)。

6. その他履修上の注意事項

農山村論Ⅱとは相関関係にあります。原則として、授業中は携帯電話・PCの使用を禁止します。携帯電話・PCの使用が必要な際には適宜指示します。また、授業中の私語は禁止とします。受講生の関心や授業の進行状況等により、授業内容が変更となる可能性があります。

7. 授業内容

- 【第1回】 イントロダクション、農山村の社会をどう捉えるか
- 【第2回】 家の構成
- 【第3回】 家の先祖
- 【第4回】 同族・親類
- 【第5回】 むらの枠組
- 【第6回】 むらの領域
- 【第7回】 むらの組織と運営
- 【第8回】 親分・子分関係
- 【第9回】 年齢階梯制
- 【第10回】 講・組
- 【第11回】 むらの伝統文化
- 【第12回】 都市化とむらの変化
- 【第13回】 農業の近代化とむらの変化
- 【第14回】 過疎化とむらの変化
- 【第15回】 テスト、まとめ